学校番号	403

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　言語文化（第一学習社）						
副教材等	新演習　古文アチーブ１（桐原書店） 読んで見て聞いて覚える重要古文単語３１５（桐原書店） 学ぶぞ　古典文法（尚文出版） 学ぶぞ　古典文法　基本練習ノート（尚文出版） 新訂総合国語便覧（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「言語文化」の授業では、古典文法や古典作品（古文・漢文）を学習します。古典を通じて、我が国の言語文化の歴史に親しみながら、読解力・表現力の基礎を習得します。また古典作品から現代社会に通じる思いや違いなどから人生や社会について考え、学ぼうとする姿勢を養うことを期待します。そのためにも、文章に粘り強く向き合いながら、論理的に読み取る姿勢を身に付けるとともに、こまめに辞書を引いて語彙を増やす、漢字の読み書きを取得するといった基礎基本の習得が重要です。また、辞書や文法書を活用した古典文法の基本的な学習が始まります。諦めず、粘り強く、取り組んでいきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざします。

(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古文入門 ［教材］ 児のそら寝(宇治拾遺物語)	a:語彙を豊かにする。歴史的仮名遣いなどの文語のきまりを理解する。 b[読]:古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 c:古語と現代語の意味の変化を理解して、調べたり説明したりしようとしている。積極的に説話を読み味わい、話のおもしろさを伝えようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート ノート提出
	古文入門 ［教材］ 絵仏師良秀（宇治拾遺物語）	a:語彙を豊かにする。品詞の違いなどの文語のきまりを理解する。 b[読]:説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉えて、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 c:文の構成単位を理解し、文を文節や単語に分けようとしている。積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート ノート提出
	歌物語 ［教材］芥川(伊勢物語)	a:和歌の修辞法の知識を学び、実際の和歌から修辞法を理解する。 b[読]:歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 c:歌物語に積極的に親しみ、和歌が物語で果たす意味を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート ノート提出
	歌物語 ［教材］筒井筒(伊勢物語)	a:語彙を豊かにする。用言の活用など、文語のきまりを理解する b[読]:歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。 b[書]:「大和物語」と読み比べ、共通点と相違点をまとめる。 c:歌物語に積極的に親しみ、和歌が物語で果たす意味を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート ノート提出
2学期	小説 ［教材］ 『羅生門』	a:語句の量を府増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容を解釈することができる。 c: 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 小テスト 発表 ノート提出
	日記	a:語彙を豊かにする。助詞などの文語のきまりを理解する。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査	授業態度 発表・レポート

	［教材］ 門出／帰京（土佐日記）	b[読]：我が国最初の日記文学を読んで、作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈する。 c：日記文学を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。		課題の提出	ノート提出
	随筆 ［教材］ ある人、弓射ることを習ふに（徒然草）	a:語彙を豊かにする。敬語などの文語のきまりを理解する。 b[読]:『枕草子』とは異なる思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示するものの見方や考え方を具体的に読み解く。 c:本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート ノート提出
	小説 ［教材］「夢十夜」（夏目漱石）	a:比喩や言い換えなど修辞を理解できる。 b[読]:文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容を解釈することができる。 c:我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 小テスト 発表 ノート提出
3学期	軍記物語 ［教材］ 木曾の最期（平家物語）	a:語彙を豊かにする。敬語などの文語のきまりを理解する。 b[読]：軍記物語という文章の種類を踏まえて、作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 c：歴史的背景を踏まえて本文を読んで、作品の世界観を理解して、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート ノート提出
	漢文の学習 訓読に親しむ ［教材］	a:漢文を訓読するための基礎知識として、返り点・助字・再読文字などを知る。 b[話／聞]:我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 c:漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけ、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。	定期考査 小テスト	発問評価 定期考査 課題の提出	授業態度 発表・レポート ノート提出
	小説 ［教材］「城の崎にて」（志賀直哉）	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:場面の展開を踏まえ、登場人物の心情を読み取ることができる。 c：我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	小テスト レポート提出	レポート提出 発表 相互評価	授業態度 振り返りシート レポート提出

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと　…　（　　１５　　）時間

・書くこと　…　（　　２０　　）時間

・読むこと　…　（　　６０　　）時間